

ケニアの中学生と繋がった！「ケニア&日本中継コンサート」①

今年度参加した「Bag Present Project」企画の一環として、26日(月)の放課後、「ケニア&日本中継コンサート」がありました。開始時刻が午後4時からだったので全員参加ではなく、4～6年生の代表委員の希望者のみの参加としました。日本とケニアでは時差が6時間あり、日本の午後4時は、ケニアでは午前10時になります。当日は、17名の児童が集まってくれました。

この企画に参加した亀井小学校を含む日本の4つの小・中学校と、ケニアのテンリスクールをZoomで繋ぎ、交流を深めました。テンリスクールは日本でいう中学校に当たり、映像で映っていた生徒はみな制服を着ていて、男子はネクタイも締めていました。

昨年11月4日に亀井小学校でコンサートをしていただいた Human Note の方が、各校から預かったカバンを持って1月20日(火)、関西国際空港からケニアに向けて出発されました。中継コンサートでは、Zoomを通して Human Note のリーダー寺尾さんの姿も観られ、ケニアの子どもたちと日本の子どもたちを繋いでいただきました。

中継コンサートでは、“動物の鳴き声クイズ”をしたり、“自分の好きな諺”“私の宝物”を紹介したりしました。ケニアの女子生徒の「ヤギ」の鳴き声は抜群に上手かったですね。多くの子が「ヒツジ」と騙されてしまいました。亀井小学校の児童が出題したライオンの「ガオー！」も良かったですね。ケニアの生徒たちは、「牛」と答えていました。

“私の宝物”では、ケニアの女子生徒は「家族と教育」と答えていました。ここで、教育と答えたのには、考えさせられました。ケニアの人々にとって、生きていくうえでは「教育」が本当に大事なのでしょう。本校の児童も「家族」と答えていました。

中継コンサートは、まだまだ続きます。

